

新しい市役所の計画概要

建築概要

	新築棟	既存棟
階数	地上5階・塔屋1階建	地下1階・地上5階 塔屋1階建
延床面積		庁舎 約21,000㎡ 駐車場 約3,600㎡ 合計 約24,600㎡
建物高さ	約27.5m	約28.3m
構造	鉄骨造・免震構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造
基礎	杭基礎	杭基礎

事業スケジュール

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
解体工事			■			
基本設計	■					
実施設計			■			
建設工事					■	

※解体工事は、旧市立病院（東棟を除く）となります

※建設工事は、実施設計を進めていく中で、詳細な工事スケジュールを作成していきます。

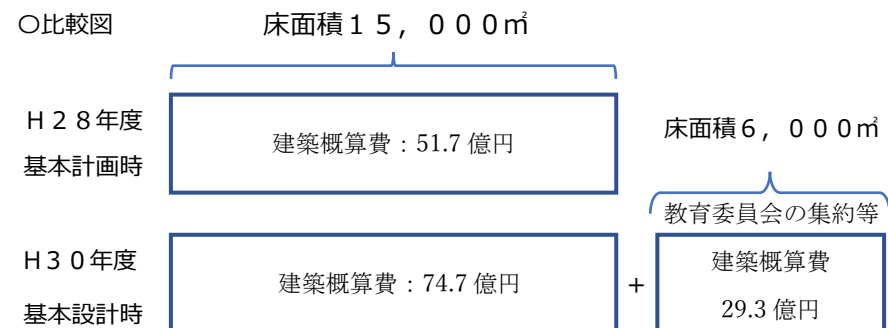
概算事業費(基本設計時の税込の試算／実施設計での積算は来年度積算)

- ・新築棟建設工事 約 87億円
- ・既存棟（旧市立病院東棟）改修工事 約 17億円
- ・建築概算費計 約 104億円
- ・外構等整備費 約 3億円
- ・合計 約 107億円

※このほか、付帯設備、情報システム導入経費などが見込まれます。

＜建設費の考え方＞

平成30年度基本設計時に、教育委員会の集約や狭隘化の解消等のため、床面積を基本計画時の床面積の上限である21,000㎡に見直しています。



○建設費が増額となった理由

- ・教育委員会の集約などのために、床面積を6,000㎡増床したこと。
- ・資材費や労務単価の上昇により建築工事費の上昇
- ・消費税を10%としたこと
- ・国が取り組んでいる温暖化対策を考慮してエネルギー消費を抑制した建物にしたこと
- ・新築棟1階を駐車場としたことにより、駐車場関連費用が加わったこと等